

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-2		事業名	企業連携構築事業			
担当	経済局産業振興部産業振興課新産業担当係 藤原 薫 211-2379						
全体計画							
事業内容	国の「バイオテクノロジー戦略大綱」で関東・関西と並んでクラスター形成地域として位置づけられ、札幌市においても大きな成長が期待されるバイオ関連産業等において、関東・関西地域とのビジネスマッチングを継続開催することで双方の地域の企業にとって、Win - Winの関係を構築する。本事業は経済産業省のベストプラクティス(BestPractice: 成功事例)にも挙げられ、各地方経済産業局から連携依頼があることから、本市の企業にとってのメリットを十分検証したうえで、関東・関西地域と他の地域も加えたビジネスマッチングを開催する。			<年度別の事業内容>			
				平成19年度 横浜(川崎)・神戸・大阪において商談会を実施。大阪においては四国とも連携をとり事業を実施した。 平成20年度 関東・関西などにおいて商談会を開催することに加え、札幌においても全国のバイオ関連企業を集めた商談会を開催する。 平成21年度・平成22年度 全国のバイオ関連企業を集めた商談会を引き続き開催するとともに、関東・関西などにおける商談会も開催する。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	平成18年度までの神戸・大阪における商談会に加えて、平成19年7月横浜において、首都圏初のビジネスマッチングを横浜市・川崎市・関東経済産業局・神奈川県等の協力を得て開催した。平成20年1月神戸・大阪において開催したビジネスマッチングでは、大阪において初めて四国経済産業局と連携して事業を開催した。3地域を合わせた来場者数は500名を超えた。			平成20年9月全国の経済産業局と連携をとり、全国のバイオ関連企業を札幌に集め、全国バイオビジネスマッチングin札幌2008を開催する。併せて関東関西における商談会を継続開催していく。			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
ビジネスマッチングの来場者数		427人	513人	800人	800人	800人	800人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 開催前において、聞き取り調査により企業・関係機関のニーズを把握し実態にあったマッチングを開催すると共に、事業終了後アンケート調査を行い、その結果に基づいて、毎年改善を行っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力]道内関係団体・開催地関係機関より、多くの資金協力得ながら事業を実施している [人材協力]事前・事後・開催中すべての期間、道内関係団体・開催地関係機関より、人的協力を得て事業を実施している [情報協力]道内関係機関・開催地関係団体より企業ニーズなどの情報をうけている [その他の協力]商談相手への呼びかけなどについて開催地の全面的な協力をうけている</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり ホームページにて情報を公開していることに加え、多くの関係機関より情報提供することにより、札幌市・開催地のみならず、他地域からも広く企業が参加しやすい環境がつけられている。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-3-2		事業名	企業連携構築事業		
評価(成果)			課題			
今後、成長性が期待できる本市のバイオ関連産業が持続的に発展していくには、これらの分野の市場である関東・関西地域との連携は欠くことはできない。北海道の素晴らしい素材・研究を道内に留めることなく、市内バイオ関連企業に商談の場を提供することで、企業の利益に資することができた。			平成20年度に開催する全国バイオビジネスマッチングin札幌2008を継続的に開催し、引き続き札幌企業に全国のバイオ関連企業との商談の機会を提供していく必要がある。また、これまでにネットワークを築いた関東・関西地域以外にも、連携の可能性のある他地域と、深いネットワークを築き、市内企業にとってより効果的な商談の機会を提供していく必要がある。			
今後の事業の予定・方向						
平成20年度に開催する全国バイオビジネスマッチングin札幌2008を継続的に開催し、引き続き札幌企業に全国のバイオ関連企業との商談の機会を提供していく。また、これまでにネットワークを築いた関東・関西地域以外にも、連携の可能性のある他地域と、深いネットワークを築き、市内企業にとってより効果的な商談の機会を提供していく。						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	6,480	7,840	7,840	7,840	30,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,480	7,840	7,840	7,840	30,000
予算	事業費	6,480	9,950	-	-	16,430
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
	一般財源	6,480	9,950			16,430
実績	事業費	8,404	-	-	-	8,404
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他	0				0
	一般財源	8,404				8,404
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				61.2%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度] 平成20年度に開催する札幌での商談会に向けた調査等のため予算額を上回る支出となった。						
[20年度] 平成19年度開催地域に加え札幌において全国規模の事業を開催することに伴い予算が増加。						